



国民春闘共闘

第 39 号
2019 年 4 月 22 日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

19 国民春闘賃上げ第 5 回集計

単純平均 5,428 円・1.97%、加重 5,983・2.00%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 4 月 19 日、第 5 回目の賃金改定集計を行い、19 単産・部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2019 年	2018 年（同期）
登録組合数	796	818
回答引き出し組合数	367 (46.1%)	384 (46.9%)
うち金額・率の回答	283	284
うち「定昇確保」など言葉による回答	84	100
うち上積み獲得	71 (25.1%)	70 (18.2%)
うち妥結組合数	103 (28.1%)	114 (29.7%)

<回答内容>

集計方法&対象		2019 年	2018 年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	5,428	5,503	-75
	率（%）	1.97	2.00	-0.03
加重平均	額（円）	5,983	6,206	-223
	率（%）	2.00	2.10	-0.10
	組合員数	69,524	71,302	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
252	143 (56.7%)	103	40

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	252	5,429	5,558	-129
	率（%）	204	1.99	1.98	±0

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

4月19日の第5回集計には、19単産・部会から報告が寄せられました（前年同期2018年4月6日現在・21単産・部会）。第4回集計（4/9）から新たに合同繊維労組、検数労連、金融労連、映演労連の4単産から回答が寄せられました。

登録796組合のうち、回答を引き出したのは367組合・46.1%で、回答引出し率は前年同期（46.9%）からマイナス0.8ポイントとなっています。また、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が84組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は283組合となっています。また、回答引出し組合の25.1%（前年同期18.2%）にあたる71組合が2次回答以上と上積み回答を引き出しています。なお、103組合が妥結となっています（妥結率28.1%）。上積み回答の引き出し率が前年を上回る粘り強いたたかひが続けられています。

回答内容

有額回答を引き出した283組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,428円・1.97%で、前年同期比75円減・-0.03ポイントとなっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,983円・2.00%前年同期比223円減・-0.10ポイントとなっています（額のみ・率のみの回答の組合があるため額・率は連動せず）。

また、同一組合での対比が可能な252組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,429円で、前年実績を129円下回っています。また、前年実績以上の回答を引き出した組合は143組合（57.7%）です。賃上げ率では204組合の単純平均で、今期は1.99%と前年実績を0.01ポイント上回っています。

全体としては、前年同期を下回っており、厳しい状況が続いていると言わざるを得ません。そうした中でも、45組合が8,000円以上の賃上げを獲得しています。

また、春闘後段に入って、回答を引き出しが始まった単産では、全国港湾と日港協との中央産別団交がこう着しているため、検数労連が前年同期比で2,507円の大幅減となっています。また、それ以外の何れの単産も前年同期を若干下回っている状況です。

非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連、福祉保育労、特殊法人労連、地方マスコミの11単産164組合から351件の成果獲得の報告が寄せられています。

時給制労働者では、引き上げ額で156件の平均で21.5円となっています。率では、61件平均で1.88%となっています。前年実績との比較可能組合では、70件の単純平均で19.1円で前年実績を0.3円上回っています。

月給制では、建交労、JMITU、郵政ユニオン、生協労連、全印総連、出版労連、日本医労連、地方マスコミから47件の獲得報告が寄せられています。引き上げ額では、35件の単純平均で4,108円の回答となっています。前年実績との比較可能組合では、20件の単純平均で2,437円で前年実績を226円下回っています。

再雇用者の賃上げ状況については、時給制 29 件、月給制 29 件の獲得報告となっています。引き上げ額では時給制で 15 件 21.1 円、月給制で 12 件 3,847 円となっています。

企業内最低賃金改定状況

企業内最賃協定の獲得状況について、前回集計からは新たな獲得報告は寄せられていません。建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、民放労連、出版労連、日本医労連の 7 単産 67 組合から 130 件の獲得報告が寄せられています。

<参考>他団体の賃金改定状況

●連合の第 4 回回答集計（平均賃上げ方式・4 月 18 日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		単純平均				加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率	金額	率	昨年	率
全組合	3,032	235.0	5,157	2.03	4,985	1.98	6,292	2.13	6,128	2.10
中小共闘	1,949	20.4	4,823	2.00	4,580	1.92	5,110	2.04	4,964	1.99

※中小共闘は、規模 300 人未満

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8 時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍 9 条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**